

Ⅱ 令和5年度の札幌市エイズ予防対策実施状況（令和6年2月15日現在）

黄色マーカーは新規で行ったもの

区分	事業の名称	
協議会	札幌市エイズ対策推進協議会の開催（令和6年2月15日）	
(対象：市民全般) 普及啓発事業	① 世界エイズデー予防啓発キャンペーン（11月～12月） （直営） AIR-G ラジオ広報、街頭大型ビジョン放映、ポスター、ホームページ、レッドリボンバッジによる啓発 （委託：世界エイズデー札幌実行委員会） STV ラジオ広報、LGBT 向けマッチングアプリ広報、レッドリボンスタディカード作成・設置、札幌市時計台・札幌市資料館ライトアップ	
	② PTA 協議会への啓発 PTA 協議会理事会、豊平区 PTA 連合会にてエイズ・梅毒の現状を周知	
	③ 北海道新聞での啓発 北海道新聞社へ HIV に関する取材を依頼し、記事掲載にて周知	
	④ リーフレット・カード等による啓発 各区保健センターでの配布（通年）	
	⑤ エイズ検査ポスターによる啓発 各区保健センター（通年）、地下鉄駅掲示板（10月）	
(対象：個別施策層) 普及啓発事業	若年層向け施策	① 若者の性に関する知識の普及啓発事業の推進（通年） リーフレットでの啓発は例年通り実施。 ② 学生向け出張講座 昨年度世界エイズデー札幌実行委員会にて制作した、学生向け講座の動画「レッドリボンスタディ」にアクセスできるカードを制作し、市内の大学、短期大学、専門学校に配布。 ③ 成人式における啓発 成人式会場にエイズ・性感染症ポスターの掲示、レッドリボンスタディカードの配架。
	MSM 向け施策	LGBT パレード「さっぽろレインボープライド」における LGBT 向け検査の周知、WEB ツールによる LGBT 向け検査の周知をレッドリボンさっぽろへ委託。
	性風俗産業従事者施策	市内特殊浴場許可施設へ性感染症予防啓発に係るリーフレットと HIV・梅毒検査の啓発ポスターを配布。
	医療機関との連携	医師会共同学術講演会の開催、市内の性感染症を診療する医療機関向けに HIV 検査ポスターとお知らせを配布

相談・検査事業等	<ul style="list-style-type: none">① エイズ電話相談事業：各区保健センター専用相談電話（平日）② 平日エイズ検査：各区保健センター月2回（定員5～10名）③ 夜間（即日）エイズ検査：白石保健センター 1回/月（定員30名）④ 休日（即日）エイズ検査：白石保健センター 2回/年（定員80名）⑤ LGBT向け休日（即日）エイズ検査：白石保健センター 1回/年（定員80名）⑥ 土曜日検査・相談事業：サークルさっぽろ 1回/週⑦ エイズ対策活動支援業務：NPO等によるサークルさっぽろの平日利用
職員研修	<ul style="list-style-type: none">① HIV検査従事者向け研修会の開催（6月）② HIV検査担当者向け研修会への参加：オンラインによる研修参加（8月）